

# PSB Computer Protection Windows でのファイヤーウォールコントロール-firewall

弊社 Computer Protection にはファイヤーウォールは搭載されておりませんが、Windows ファイヤーウォールをコントロールする機能が搭載されております。 当記事ではこの機能を利用して Windows ファイヤーウォールにルールを追加する手法を解説いたします。

当シナリオでは、「暗黙の Deny」(“許可条件に合致しない通信は全ブロック”)を Windows ファイヤーウォールに担当させ、PSB ポータルから許可ルールのみ登録する手法を採用しております。

## [Windows ファイヤーウォールの特徴]

Windows ファイアウォールは、設定されたルールの順序を考慮せず、全てのルールをチェックします。通信に対して複数のルールが一致した場合、拒否が優先されます。その為、ルール最下部の「全ての通信を拒否」(暗黙の deny)がある場合、RDP 通信施行は失敗します。また、Windows ファイヤーウォールに既存の拒否ルールが存在している場合も RDP 通信施行は失敗します。当手順では、そういった Windows ファイヤーウォール既存ルールについて無効化を行います。



## [既存 Window ファイヤーウォールルール無効化手順]

1.PSB ポータルにログインし、コントロールしたいデバイスに適用中の「プロフィール」を開きます。



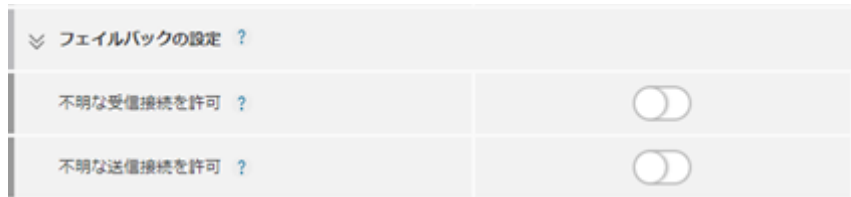
2.Windows ファイヤーウォールを Computer Protection でコントロールする設定にします。

- ・ 「Windows ファイヤーウォールにプロフィールを追加」を有効
- ・ 「F-Secure ファイアウォール プロフィールを追加」を有効



3.PSB ポータルファイヤーウォールプロフィールで許可されている通信以外は、拒否する設定にします。

- ・「不明な受信接続を許可」を無効
- ・「不明な送信接続を許可」を無効



4.既存 Windows ファイヤーウォールルールをすべて無効化する設定にします。

- ・「他のルールを許可する」を無効



※Active Directory/GPO や監査ソフト等で強制的に設定されているルールは無効化できません。

### [PSB プロフィールへのファイヤーウォールルール追加手順]

1.変更するプロフィールを選択します。

※ここでは Normal Workstation を選択します。

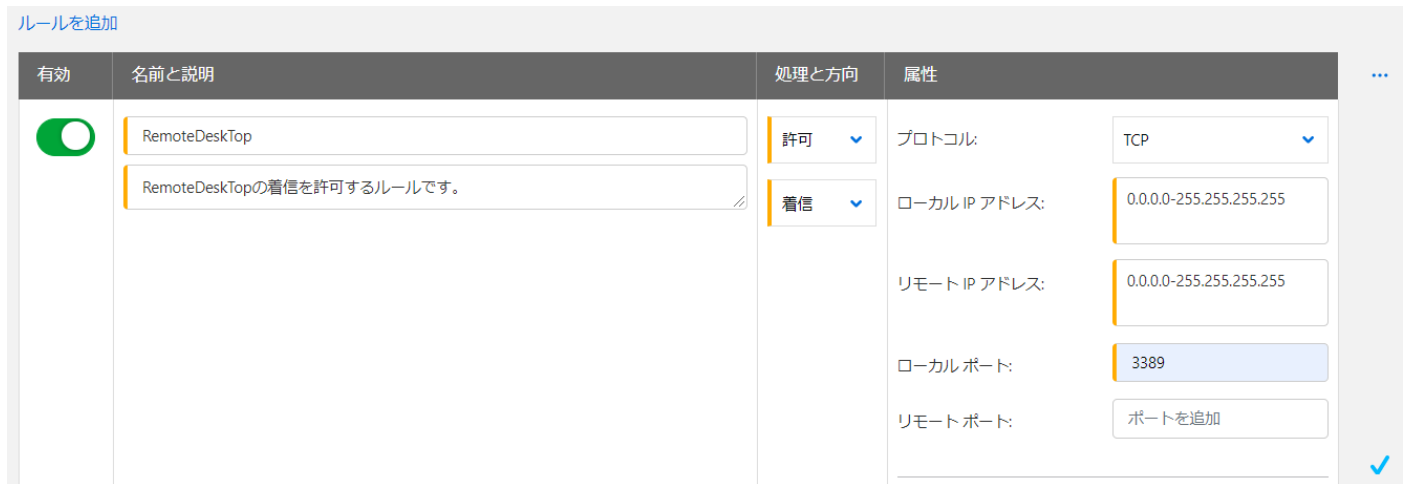


2.「ルールを追加」からルールを追加します。



3.ルールに必要な項目を入力します。

※当記事では RemoteDesktop(TCP: 3389)許可ルールを追加します。



※ルール追加 をクリックして必要な情報を入力します。

- ・ プロフィールを追加 :プロフィール名を入力します
- ・ 説明を追加 :説明を入力します
- ・ 処理 :許可
- ・ 方向 :着信
- ・ プロトコル :TCP
- ・ ローカル IP アドレス : 0.0.0.0-255.255.255.255
- ・ リモート IP アドレス : 0.0.0.0-255.255.255.255
- ・ ローカルポート :3389
- ・ リモートポート :指定なし

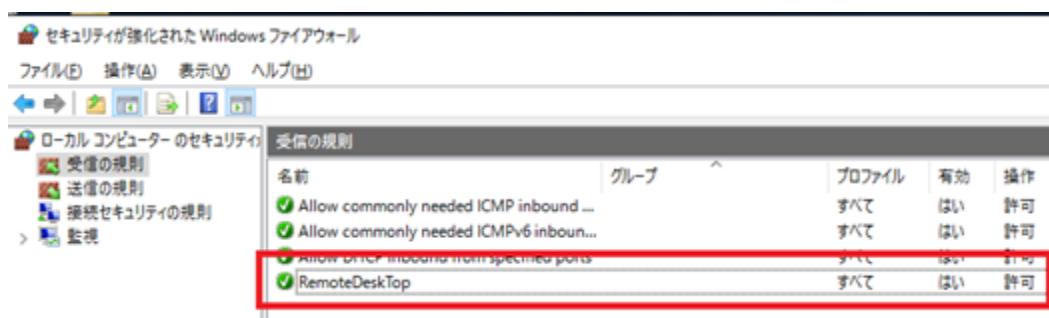
4.入力後は右側のチェックをクリックし、ルールの設定を確定します。



5. 「保存して発行」をクリックし、プロフィールを確定します。

保存して発行

6. Computer Protection クライアントの「コントロールパネル」→「Windows ファイアウォール」→「詳細設定」→「受信の規則」にルールが追加された事を確認します。



### [補足情報]

当手法を行うことで既存の Windows ファイアウォールルールを上書きし、既存のアプリケーション通信に影響を与える可能性があります。あらかじめお使いのコンピュータに必要な通信(IP アドレス/ポート番号/etc)を把握した上で当手法をお試しください。

Windows ファイアウォールはポリシーのインポート/エクスポート、既定のポリシーの復元機能を備えております。Computer Protection での設定変更前のポリシーをエクスポートしておく事で設定ミスが発生した場合でも設定復元が可能です。

※手順 4 で無効化した既存のルールは、同手順の「他のルールを許可する」を有効化する事で復元できます。

